

Illustrator で絵型を描く。

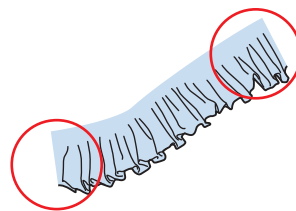
ブラシの活用方法

アートブラシを上手く使う。

袖口など狭い範囲でブラシの形状が連続ではなく終わりがあ
る形で表現したい場合はアートブラシを使った方が便利である。

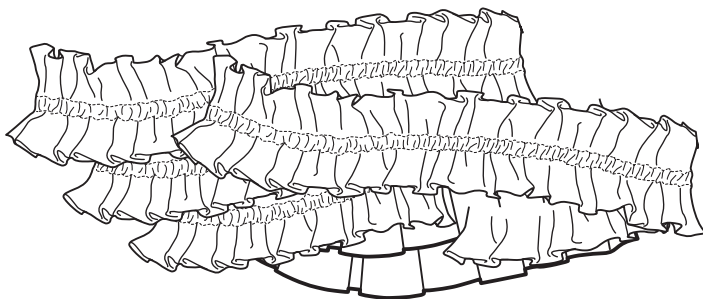
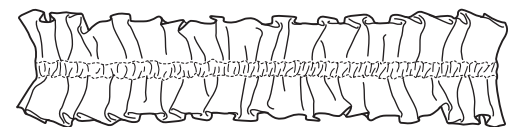
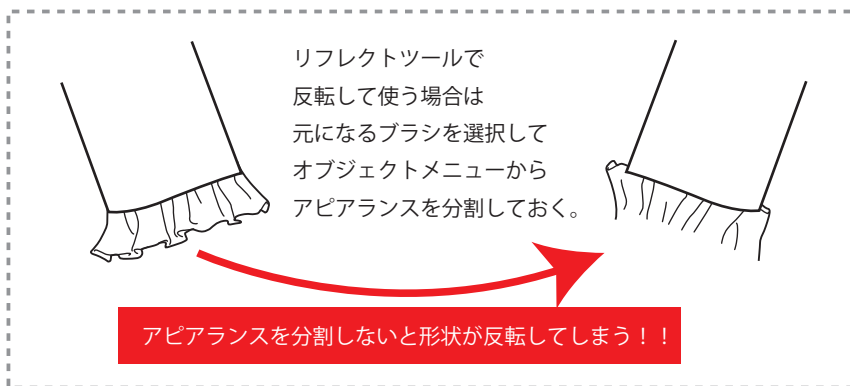
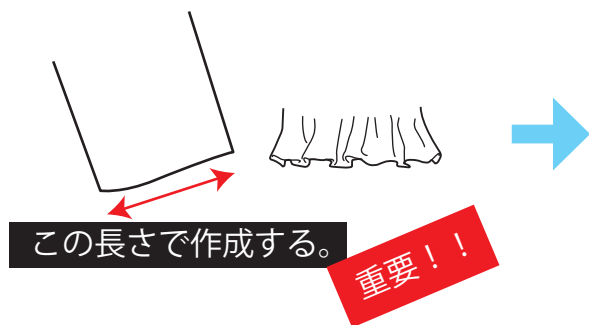


パターンブラシで作成すると
両端に不要な部分が出てしまう。



不要な部分を隠すには
クリッピングマスクが便利だが
その後形状をペンツールで
修正したりしなくてはならないので
案外面倒である。

アートブラシでの最大のコツは使用する場所に合わせてブラシを作成することである！

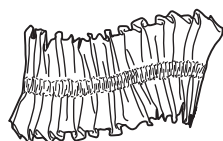


両端の形状があるアートブラシならば
ランダムに重ねて使用しても違和感はない！

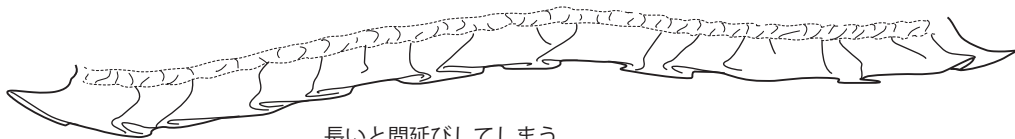
パターンブラシと違い左右が繋がるように作成する必要もないので
アートブラシは比較的簡単に作成出来る。

勿論塗りを入れて作成すれば重ねて使用することも可能である。

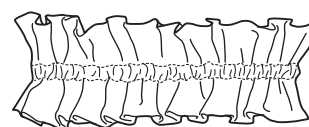
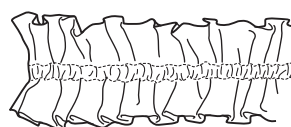
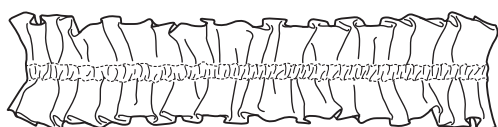
アートブラシの最大の欠点は前にも述べたように、
使う場所の長さに合わせて作成しなくてはならない事である。



短いと縮む



長いと間延びしてしまう。



何度も繰り返して別の場所で使う場合は
一旦長いアートブラシを作成しておいて
端の方から切り刻んで作成して行くと良い。

片側をダイレクト選択ツールで
囲って Delete した。

削除した部分を描き足す。

散布ブラシ、アートブラシ、パターンブラシ、それぞれの用度に分けて使いこなして欲しい！